

4月定例記者会見取材依頼資料

番号	行事名	日程等	連絡先等
①	「平成28年熊本地震」災害義援金の募金活動の取り組み	4月25日(月)～ 5月25日(水)	総務課 行政係 (内線321)
②	平成28年度特集展示「四日市別院の文化」	4月26日(火)～ 7月24日(日)	大分県立歴史博物館 0978-37-2100
③	第22回 ダイワハウス全国少年少女野球教室	5月8日(日) 午後0時30分～	プロ野球OBクラブ 大分県代表幹事 神田 090-9603-1189
④	宇佐市チャレンジデー2016開催	5月25日(水) 午前0時～	文化・スポーツ振興課 スポーツ振興係 (内線685)
⑤	お寺de縁日	5月14日(土) 午前11時～	真宗大谷派 日豊教務所 0978-32-0050
⑥	20年の実践から学ぶ「農泊の極意」 ～俳句におけるグリーンツーリズムおもてなし 心得～発刊のお知らせ	4月下旬	NPO法人 安心院町グリーンツーリズム 研究会 0978-42-5502
⑦	宇佐市安心院地域複合支所建設基本設計の完成	3月30日(水)	安心院支所 地域振興課 (内線120)
⑧	第12回 宇佐航空隊平和ウォーク	5月14日(土) 午前8時50分～	豊の国宇佐市塾事務局 (観光まちづくり課 コミュニティ係) (内線473)
⑨	「宇佐市高校生議会」の開催	5月20日(金) 午後1時30分～	総務課 行政係 (内線321)
⑩	両合棚田再生協議会(仮称)発足式及びフィー ルドワークの開催	5月19日(木) 午後7時～	農政課 6次産業創造推進係 (内線427)
11	5月～6月イベント情報		秘書広報課 広報広聴係 (内線352)

○印は説明をさせていただく案件です。

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成28年4月21日申込

件名	「平成28年熊本地震」災害義援金の募金活動の取り組みについて
日時等	平成28年4月25日(月)～平成28年5月25日(水)
場所等	対象:市内全世帯(約23,800世帯)
趣旨、目的	平成28年4月14日から頻発する「平成28年熊本地震」により熊本県及び大分県において、甚大な被害が発生しています。 こうした中、宇佐市自治会連合会は、被災地で大変不自由な避難所生活を余儀なくされていたり、また懸命に復興に向け取り組んでいる被災地の方々を支援するため、宇佐市と意を共にし、義援金の募金活動を実施します。
内容等	宇佐市自治会連合会に加入する市内346の自治会において、区長を中心として各世帯へ積極的な声かけを行い、義援金の募集に取り組みます。いただいた義援金は、日本赤十字社等を通じて被災地へ届けます。 【募金額】 各世帯の募金額については設定しない。 【収集方法】 収集方法については、各自治会に委ねる。 被災地域を指定した募集は行わない。 強制的な徴収及び類似する方法は行わない。 ○これまでの実績 ・平成23年東日本大震災 18,186,815円 ・平成26年広島県大雨災害 2,670,893円
主管者	宇佐市、宇佐市自治会連合会
連絡先	宇佐市総務課行政係 32-1111(内線321)

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成 28年 4月 11日申込

件名	平成28年度特集展示「四日市別院の文化」
日時等	平成28年4月26日(火)～7月24日(日) [開館時間]午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで) [休館日]毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその直後の平日)
場所等	大分県立歴史博物館 常設展示室
趣旨、目的	四日市別院関連資料を通して、豊前における阿弥陀信仰とその文化を紹介する。
内容等	<p>浄土真宗における本山直轄の道場であり、末寺や門徒の統轄、地方教化の拠点として建立される「別院」。明治時代以前は「御坊」と呼ばれていましたが、明治9年(1876)以後「別院」と改められ、今日に至ります。大分県宇佐市四日市には、浄土真宗本願寺派・大谷派の両別院が並び建ち、豊前における念仏の中心と位置づけられます。</p> <p>本展では、今春本堂の改修を終え、落慶法要を迎える大谷派別院の法物や関連資料の紹介を通して、阿弥陀信仰とその文化をみつめます。</p> <p>【展示品】 ・真宗大谷派四日市別院立面図(個人蔵)</p> <p>【観覧料】 一般:310円(団体200円) 高大学生:150円(団体100円) 中学生以下:無料 ※団体は20名以上。土曜日の高校生の観覧は無料。 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳の所持者とその付添者1名は無料。</p>
主管者	
連絡先	大分県立歴史博物館(TEL 0978-37-2100) 企画普及課 学芸員 高宮 なつ美

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成28年4月20日 申込

件名	第22回ダイワハウス全国少年少女野球教室
日時等	平成28年5月8日(日) 12:30~15:30
場所等	宇佐市院内町原口151 宇佐市平成の森公園 野球場 【雨天時は宇佐市平成の森公園 屋根付運動広場 石橋童夢】
趣旨、目的	「100万人のこどもたちとキャッチボールを！」をテーマとし、将来を担う子供達に野球の魅力や楽しさを伝えるとともに心の触れ合いが出来る場所を提供する事により、野球界の底辺拡大、野球を通じたスポーツの普及・振興及び青少年の健全育成を目指します。
内容等	日本プロ野球OBクラブより数名の講師を派遣し、小学1年生から中学3年生を対象とした野球教室(技術指導等)や指導者・保護者との交流を行います。 派遣講師(予定) 藤沢 哲也(元南海)、木村 恵二(元ソフトバンク)、神田 大輔(元南海)、金澤 信彦(元近鉄) 宇佐会場 150名~400名程度を予定
主管者	公益社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)
連絡先	プロ野球OBクラブ 大分県代表幹事 神田 大輔 (専門学校 九州総合スポーツカレッジ) 電話番号 090-9603-1189 FAX 0978-38-4897

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成28年4月20日 申込

件名	宇佐市チャレンジデー2016の開催について
日時等	平成28年5月25日(水) 0:00~21:00
場所等	<p>宇佐市内全域 当日のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内早朝ウォーキング 7:00~ 平成の森公園 石橋童夢 ・安心院早朝ウォーキング 7:00~ 安心院旅行村B&G海洋センター(体育館前) ・チャレンジイベント 18:00~ 宇佐市総合運動場 多目的競技場 第1部 みんなで体操 第2部 お楽しみ抽選会 ・その他総合型地域スポーツクラブ、スポーツ競技団体等によるイベントを開催 32教室・大会等
趣旨、目的	<p>市民が運動やスポーツを通じて健康に対する意識を高めるきっかけとなるスポーツイベントです。毎日の生活に運動やスポーツを実施する習慣が図られれば、活気に満ちた元気でいきいきした市民が増え、また、ひとつの目標に向かって市が一体となって取り組むことにより、地域のコミュニティづくりや市の活性化にもつながります。</p> <p>現在、市健康課で取り組んでいる「5. 8. 11健康チャレンジ」とも連携して地域、民間団体、行政等で一体となって取り組みます。</p>
内容等	<p>毎年5月の最終水曜日(今年は5月25日)に人口規模が同じ自治体で、午前0時から午後9時までの間に、15分間以上継続した運動やスポーツなどを行った住民の「参加率(%)」を競い合う、住民総参加型のイベントです。</p>
主管者	宇佐市チャレンジデー実行委員会
連絡先	<p>文化・スポーツ振興課 スポーツ振興係</p> <p>電話番号 0978-32-1111(内線685、686、553) FAX 0978-32-1272</p>

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成28年4月15日 申込

件名	イベント名:「お寺de縁日」
日時等	2016年5月14日(土) 11:00~16:00 迄
場所等	真宗大谷派 四日市別院(東別院) 境内全域
趣旨、目的	<p>【趣旨】 130年前に建てられた歴史ある別院本堂の御修復(修繕工事)を執り行い、浄土真宗における御遠忌(親鸞聖人50年に一度のご法事)と呼ばれる大切な法要のお勤めをする。その表現のかたちとして「縁日」(お祭り)の場を創造し、親子でお寺に足を運んでもらい、地域に開かれた別院を認知することも視野に入れた、イベントを開催する。</p> <p>≪「お寺de縁日」コンセプト≫</p> <p>① お寺で「楽しみ」と「伝統」に触れる【親子で参拝を】 ・「お寺はおじいちゃん、おばあちゃんが行くところ」という固定概念を払拭したい。</p> <p>② 東別院を四日市のランドマークに【悠久なる歴史の味わい】 ・1600年代より四日市に存在する別院(お寺)を知ってほしい(告知) ・門前町の中心寺院として四日市の商店街の方々と連携を密にしていきたい。</p> <p>③ 家の宗教(仏教)の継承【仏法にあう】 ・子どもや孫への仏さまの教えの相続が届いていない不安。当イベントを通じて、お寺(東別院)に馴染み、仏さまの教えを聞く機会としたい。</p>
内容等	<p>【音楽イベント】 『栗コーダーカルテット』 NHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」でおなじみ 『G・ぶんだリーか』 TV番組「ぶっちゃけ寺」出演ほか、ラジオ等にて中部地方では有名になりつつあるお坊さんバンド(名古屋出身) 『BON Craze』 岩手出身の僧侶(石田悠晃)とゴーゴー木村(ギターリスト)によるユニット。東日本大震災を縁にチャリティーライブ活動をする。</p> <p>『山香子ども太鼓』 オープニングイベントとして参加</p> <p>【遊ブース】 ・昔あそび「けん玉の達人によるけん玉教室」「輪投げ」「コマ」「ヨーヨすくい」ほか ・フェイスペイント、畳コースター制作(佐々木畳店)</p> <p>【食ブース】 四日市界隈の飲食店より出店(ネギ焼き・からあげ・牛すじ煮込み)、坊主かふえ、お茶席(抹茶)など</p> <p>【本堂・山門見学ツアー】 136年ぶりに綺麗になった本堂と文化財である山門の説明クルーズ</p>
主管者	真宗大谷派 日豊教務所 教務所長 荷葉 一浩(かよう かずひろ) 事務局 永井 貴宗(ながい たかむね) スタッフ:約40名
連絡先	〒879-0471 宇佐市四日市1425-1 TEL0978-32-0050 ファックス0978-32-0092 E-mail : nippo@higashihonganji.or.jp

宇佐市定例記者会見（４月用）資料

平成２８年４月１８日申込

<p>件名</p>	<p>２０年の実践から学ぶ 「農泊の極意」 ～俳句におけるグリーンツーリズムおもてなし心得～ 発刊のお知らせ</p>
<p>趣旨</p>	<p>安心院町グリーンツーリズム研究会が発足してから、丸２０年が過ぎました。今では、全国的にみても教育旅行や海外からの農泊希望者が増大しており、グリーンツーリズムで頑張っている地域では、明るい展望が開けているのではないのでしょうか。</p> <p>しかし、今まで個人及び一つの組織の苦情、失敗から全国的に農泊（農村民泊）は良くない、問題であると指摘された事も、何度となくあり、日本中の農泊が全部ダメになってしまうのではと心配したこともあります。</p> <p>当研究会の３つの約束の中に「苦情、失敗、良かった事の共有」というのがあります。この２０周年を機に、今までにあった苦情、失敗、良かった事などを中心に、質の高い組織継続の為の意識や願いを、２０年の実践から学ぶ「農泊の極意」として、読みやすい形で俳句形式に（５・７・５）まとめました。「心の交流」を主体にしたグリーンツーリズムおもてなしの参考になればと願っております。</p>
<p>内容</p>	<p>【対象読者】当研究会グリーンツーリズム受入家庭 全国のグリーンツーリズム受入実践者・関係者</p> <p>【内容】グリーンツーリズム受入において、注意すべき点やおもてなしの心得を五・七・五の俳句形式でまとめています。 (別紙参照)</p> <p>【発刊日時】平成２９年４月下旬</p> <p>【価格】 ８５０円</p>
<p>主管者</p>	<p>NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会</p>
<p>連絡先</p>	<p>NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会 宇佐市院内町二日市 194-1 TEL : 0978-42-5502 FAX : 0978-42-5504 担当：安部翼</p>

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成28年4月20日 申込

件名	宇佐市安心院地域複合支所建設基本設計の完成について
日時等	平成28年3月30日完成
場所等	宇佐市安心院町下毛 安心院支所 地域振興課
趣旨、目的	宇佐市安心院地域複合支所建設基本設計
内容等	<p>宇佐市安心院支所及び中央公民館は、築40年以上経過し老朽化と耐震脆弱性が課題となっていることから、地域の核となる複合的な機能を持った新たな拠点として建替えを計画しています。</p> <p>計画では、木造による安心院地域複合支所を地域のランドマークとして、交流の拠点となるような施設を目指しています。また、宇佐市産材を使用することを基本に、その全てを市有林でまかなうことを計画しています。</p> <p>今般、安心院地域複合支所建設基本設計が完成したことから、今後作成する実施設計に向けて、パブリックコメントを実施しています。基本設計を広く地域の皆様にお知らせするとともに、魅力的な交流の拠点となる複合支所建設を目指します。</p>
主管者	宇佐市安心院支所 地域振興課
連絡先	0978-44-1111 内線120

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成28年4月21日申込

件名	「宇佐市高校生議会」の開催について
日時等	平成28年5月20日(金)午後1時30分～午後5時00分
場所等	宇佐市議会議事堂 本会議場
趣旨、目的	<p>公職選挙法の改正に伴い、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、今年の参議院議員選挙から適用される。</p> <p>このような情勢下、宇佐市の次代を担う高校生の政治や社会への参加意識を更に向上させるため、まず身近な市政や市議会への理解と関心を高めてもらう観点から、市内の高校生を対象に「宇佐市高校生議会」を開催し、若者の視点から日常生活で感じた市政への質問や提言を行っていただき、市政に反映することを通じて、若年世代から市民として魅力ある宇佐市づくりや、宇佐市の発展に寄与する意識の醸成を図ることを目的とする。</p>
内容等	<p>【出席者】 高校生議員(市内高校4校から各学校代表3名～6名) 議長(市議会議長) 市執行部(市長、副市長、教育長、関係部課長等) ※市議会議員は傍聴</p> <p>【議会の進め方】 各高校生議員が議事堂本会議場で登壇、質問を行う。 質問に対する答弁は市長、副市長、教育長、関係部課長等が行う。 答弁に対し、一問一答方式により再質問をすることが出来る。ただし、質問時間は 各高校単位で再質問を含め40分以内とする。</p> <p>【質問のテーマ】 a.教育、b.観光、c.まちづくり、d.保健・福祉、e.自然・環境、f.国際化、g.産業 h.建設i.財政、J.人権・男女共同参画、k.その他</p>
主管者	主 催:宇佐市、宇佐市議会
連絡先	宇佐市総務課行政係 32-1111(内線321)

宇佐市定例記者会見(4月用)資料

平成28年 4月20日 申込

件名	両合棚田再生協議会(仮称)発足式及びフィールドワークの開催
日時等	発足式: 5月19日(木) 午後7時～ フィールドワーク:5月20日(金) 午前9時30分～(午前中)
場所等	発足式: 余谷棚田交流施設(院内町大坪) フィールドワーク集合場所:両合棚田休憩施設(院内町滝貞)
趣旨、目的	本市における世界農業遺産のシンボリックなスポットとして両合棚田を選定し、地元を中心とした協議会を立ち上げ、棚田の再生活動を総合的に行う。
内容等	<p>①発足式 両合棚田を守る会(地元)、余谷21世紀委員会、大分県北部振興局、宇佐市で構成する両合棚田再生協議会(仮称)の発足式を開催する。 内 容: ・あいさつ(市長等) ・事業概要説明 ・世界農業遺産に関する講話 世界農業遺産専門家会議 委員 大和田順子氏 ・獣害対策に関する講話 三重県農業研究所主幹研究員 山端直人氏</p> <p>②フィールドワーク 内 容: 両合地域の資源再発見や獣害対策をテーマとしたフィールドワークを行う。 参加者: コーディネーター等(大和田氏、山端氏)、地元住民、協議会関係者</p>
主管者	農政課 6次産業創造推進係 担当:今仁真史
連絡先	TEL 0978-32-1111(内線:427)